

## 加速アクションプラン個票

<b>①実施項目</b>	8 住民満足度調査事業	②No.10	実施状況 実施中			
<b>③加速プラン事業名</b>	地域社会報告書作成事業					
<b>④所管課</b>	経営企画課					
<b>⑤現状と課題</b>	<p>【現状】第5次総合計画策定において、47の最適化条件と43のめざそう値を設定しており、最適化条件の達成度をめざそう値で測定することにより、滝沢村の将来像へ近づく為の政策の展開の目安としている。このめざそう値は、毎年地域社会アンケートを実施し、たきざわ地域社会報告書の作成により、公表している。</p> <p>【課題】アンケートの信頼性という点で、サンプル数、回収率を見据えたうえで、たきざわ地域社会報告書における考察については一定の条件を付す必要がある。</p> <p>標準誤差により、数%以内の誤差には「増」又は「減」の表記ができない等。また、取りまとめには膨大な事務量が必要となる為、調査自体の委託等について検討する必要がある。</p>					
<b>⑥取組み内容</b>	<p>①毎年度2月に地域社会アンケートの実施</p> <p>②翌年度に地域社会アンケート調査と各種統計調査のとりまとめ</p> <p>③たきざわ地域社会報告書の刊行</p> <p>④たきざわ地域社会報告書を参考に各政策、施策等の評価</p>					
<b>⑦年度計画</b>	H19	H20	H21	H22	H23	H24
平成19年度から平成21年度までは集中取組期間です。	事業実施 ②③④①	事業実施 ②③④①	事業実施 ②③④①	事業実施 ②③④①	事業実施 ②③④①	事業実施 ②③④①
	※当該年度に実施するアンケートは、次年度にとりまとめる。					
	計画値 単位(%)	40	40	40	40	40
実績値 単位(%)	41.7	43.0				
<b>⑧目標</b>	<p>【計画値算式】 回収率 40%以上</p> <p>有効回答数1,000件以上を目標とする。標本誤差の最大値0.03で計算した場合。サンプル数は、3,000サンプルとする。</p>					
<b>⑨効果</b>	毎年度、第5次総合計画におけるめざそう値を測定することにより、政策、施策の展開について振り返ることができ、今後の政策展開に寄与する。					
<b>⑩達成度</b>	H19	H20	H21	H22	H23	H24
	平成18年度 たきざわ地 域社会報告 書作成完了	平成19年度 たきざわ地 域社会報告 書作成完了	平成20年度 たきざわ地 域社会報告 書作成完了	/	/	/
<b>⑪国集中改革プラン報告項目別全体計画(対H16)</b>	※当該加速プランが含まれる項目について表記					
【項目名】	H17	H18	H19	H20	H21	合計
計画値	/	/	/	/	/	0
実績値	/	/	/	/	/	0
差額	0	0	0	0	0	0
単位:千円						